

R 7 全国学力・学習状況調査 結果の分析

4月17日に、6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果から分析した内容についてお知らせします。 (○…成果 ▼…課題)

【国語】

☆内容について

○「我が国の言語文化」といった知識に関する領域では高い正答率が得られました。

問題文から情報と情報を関連付けて考える問題の「情報の扱い」も良い結果が得られました。

また、「書くこと」についても、よい結果が得られました。

▼文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけ出す「読むこと」については苦手としている児童もいるようです。特に複数の情報を総合して読み解き自分の考えを記述する点が苦手です。

⇒授業の中で、複数の情報から自分の必要な情報を読み解く力を計画的に組み込み、力をつけてさせていきたいと思います。

☆問題形式について

○選択で答える「選択式」や短い言葉で答える「短答式」の問題についてはよくできていました。

▼長めの文章で答える「記述式」の問題になると、設問に対して不十分な回答をする児童も少なくありませんでした。

⇒学習の考え方やまとめなど自分の言葉でノートに書かせるなど、記述式の問題に対応できる児童を育てたいと思います。

【算数】

☆内容について

○はかりの目盛を読みとるなどの「測定」についてよい結果が得られました。

○図形の角や面積を求める「図形」や、伴って変わる2つの数量の関係について考える「変化と関係」において、よい結果が得られました。

▼分数の加法において、共通する単位分数を見出し、そのいくつ分になるかを考える問題において誤答が多かったです。

⇒頭の中で考えるだけでなく、分数をわかりやすくノートやタブレットを用いて、視覚的にわかりやすくまとめるられるような活動の工夫をしたいと思います。

☆問題形式について

○選択で答える「選択式」の問題についてはよくできていました。

▼記述式の問題について苦手意識をもつ児童が少なくありませんでした。

⇒「なぜ」「どうして」など探究心をもって取り組み、答えを求めるに至る過程を大切にして、ノートに記述し、自分の考えを整理するなど、深く理解することができるような手立てをとっていきたいと思います。

【理科】

☆内容について

○地球とその周辺環境を学ぶ「地球の領域」においてよい結果が得られました。

▼電気や熱、力と運動などの「エネルギーの領域」において、誤答が多くみされました。特に、身の回りの金属について、電気を通すものと磁石を引き付けるものの知識がしっかりと身に付けられていました。

⇒授業の中で、目的を明確にした実験や観察を行い、その結果をもとに自ら考察する機会を、これまで以上にとっていきたいと思います。

☆問題形式について

○短い言葉で答える「短答式」の問題についてはよくできていました。

▼算数同様、記述式の問題について苦手意識をもつ児童が少なくませんでした。

⇒理科は生活体験がとても大切ですが、単元ごとに身に付けなくてはいけない「知識」を土台として思考・判断をすることが、科学的な見方や考え方を育てる上でとても重要となります。したがって、考察する上でも正しい知識を身に付けさせていきたいと思います。また、結果から答えを導き出す「考察」を自分で考えさせていきたいと思います。

【質問調査結果】

○「毎日朝食を食べる」「毎日同じ時間に寝る」「毎日同じ時間に起きる」など基本的な生活習慣が、しっかりしている家庭が多い。今回の調査結果からも、基本的生活習慣と正答数との相関関係が比較的に高いことが明らかになっている。

○基本的生活習慣は、「勉強する時間を自分で決めて実行している」「家で学校の宿題をしている」児童は、自尊感情と規範意識が高く、家庭でのコミュニケーションをとっている傾向にある。

▼「学校の授業時間以外に普段勉強するか」「土日など学校が休みの日にどのくらい勉強の時間を使っているか」の問い合わせに対して、本校は全国に比べて低い傾向にあります。

⇒学校だけでなく、学習をする時間を各家庭で決め、家の学習する習慣作りをしていくとともに学習の力がつくと思います。